

弥生時代のあらし



● くにの誕生
→ いくつかのむらの集合体。

くに同士の大きな争いが発生

共同の王を立てることで争いを終わらせた
= 邪馬台国の卑弥呼女王

全国規模の力をもった国の登場
→ 古墳時代へ移行していく

● 財産をめぐり、むら同士の争いが起こる
→ むら同士の上下関係が生まれる

彼らを統率する首長(リーダー)の登場
→ 権力をもつ人々が出てくる。
= 身分の差が生まれる。

・環濠集落(弥生時代に特徴的な集落)の登場
むらを守るため、まわりに溝を掘った集落